

# 報 告 事 項 ( 6 )

学芸文化課

件 名	県庁舎跡地における埋蔵文化財調査について
概 要	<p>県庁舎跡地の埋蔵文化財調査（西側部分）については、令和2年11月5日から西側遺構の面的な広がり、その残存状況の確認及び古い石垣のラインの確認を主な目的として調査を実施している。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1 調査範囲及び状況は、別添資料を参照</li><li>2 調査面積 1,392㎡</li><li>3 調査現場の公開 当初の計画では、1月16日（土）に現地説明会を開催する予定で進めていたが、本県における新型コロナウイルス感染段階が、ステージ4（特別警戒警報）に移行したことから、今回は感染拡大防止のため中止し、以下のURLにて、映像により公表している。 なお、進捗状況については、ホームページなどを通じて随時情報提供を行っている。  ○学芸文化課ホームページ <a href="https://www.pref.nagasaki.jp/section/edu-gakubun/index.html">https://www.pref.nagasaki.jp/section/edu-gakubun/index.html</a>  ○県庁よかテレ <a href="https://www.pref.nagasaki.jp/yokatv/">https://www.pref.nagasaki.jp/yokatv/</a></li><li>4 その他 調査にあたっては、考古学、歴史学などの専門家に依頼し、調査の指導助言をいただきながら進めている。</li></ol>

**県庁舎跡地における埋蔵文化財調査について  
(資料)**

## 旧県庁舎跡地埋蔵文化財調査の状況について（報告）

### 1. 埋蔵文化財調査の現状

- 県庁舎跡地敷地西側の埋蔵文化財調査については、昨年11月5日から着手。
- 調査地西側に石垣の裏込めを確認。既存擁壁の裏側に石垣が残存している可能性が高い。
- 江戸時代の土層（盛土）が面的に残っていることを確認。江戸時代の技術水準の高い土木工事（地業<sup>ちぎょう</sup>）の様子が確認できる。
- 近代（明治時代以降）のレンガ構造物を確認。3代目県庁舎本館及び3代目県庁舎に付属する建物の基礎である可能性がある。
- 地山が急激に落ち込む地点を確認。地山が急激に落ち込む地点より西側に江戸時代の土層（盛土）が残っている。敷地の元々の地形（旧地形）を検討する資料となる。
- 出土遺物は、近世から現代にかけて製作された陶磁器や瓦片、ガラス製品、金属製品、レンガ片が出土。

### 2. 今後の予定

- 江戸時代の土層（盛土）の下層に、江戸時代の遺構や地山が確認できるかについて確認する調査を実施。
- 人力掘削による調査を1月下旬までの予定で実施。その後、遺跡を保護するために保護シートを敷いて土をかぶせる作業（埋め戻し作業）を行う予定。

### 3. 現状写真

<全体図（黒破線部が調査区）>



<検出遺構状況（空中写真） ※番号は次ページ以降の写真番号と連動>



<① 石垣裏込め確認状況 南から>



<② 近代遺構確認状況 北から>



<③江戸時代の盛土 南から>



<④ 地山が急激に落ち込む地点 西から>



